

令和3年度「浜田市再犯防止推進計画策定に伴う、地域住民の再犯防止に係る意識調査」報告書

提出年月日：2022年 3月 25日

代表者： 豊田知世

1. 活動の目的と概要

犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現を図るため、令和4年度末までに自治体ごとに「再犯防止推進計画」作成が求められている。

検挙者の再犯防止割合は48.7%であり、再犯率は年々増加傾向にある。再犯の理由として、職がないこと、帰る場所がないことから、社会復帰ができていない状況が挙げられる。そこで、再犯をおこさない地域社会のあり方について、まずは浜田市の再犯防止に対する意識調査を行い、地域に適した再犯防止計画に寄与する情報を共有することで、安全安心して暮らせる地域の実現を目指す。本プロジェクトでは、1) 関係者に対するヒアリング調査を実施し、2) アンケート調査票設計し、3) アンケート調査から再犯防止推進計画に組み込む項目の提案を行った。

2. 参加者

区分	氏名	所属
専任教員	豊田知世	地域政策学部
学 生	森原千尋	総合政策学部 総合政策学科4年
	佐藤和貴	総合政策学部 総合政策学科3年
	板垣朝美	総合政策学部 総合政策学科3年
	越智光志	総合政策学部 総合政策学科3年
	青戸里菜	総合政策学部 総合政策学科2年
	大藤陽斗	総合政策学部 総合政策学科2年
	杉原拓樹	総合政策学部 総合政策学科2年
	高尾恭士	総合政策学部 総合政策学科2年
	田中慶之介	総合政策学部 総合政策学科2年
	光正羽音	総合政策学部 総合政策学科2年
	渡辺優太	総合政策学部 総合政策学科2年

その他、浜田市、浜田市保護司、公共職業安定書、警察署など。

3. 活動内容

1) ヒアリングの実施

浜田市再犯防止推進計画策定専門部会の参加者、および、あさひ社会復帰促進支援センターの職員及び訓練生にヒアリング調査を行い、その結果をもとにアンケート調査を設計した。ヒアリング対象者は以下の通り。

【浜田市再犯防止推進計画策定専門部会】

区分	団体・組織名	役職	氏名 (R3)
関係行政機関	松江地方検察庁 浜田区検察庁	統括検務官	金子 徹
	松江保護観察所	統括保護観察官	笹岡 省三
	島根あさひ社会復帰促進センター	総務部調査官	谷垣 昌俊
	浜田警察署	生活安全課生活安全係長	山本 和之
	島根県健康福祉部地域福祉課	主任主事	長谷川 研
就労関係	浜田公共職業安定所	就職支援ナビゲーター	山本 哲也
関係団体	浜田地区保護司会	副会長	服部 孝之
	社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会	生活福祉課長	向原 仙子

【あさひ社会復帰促進支援センター関係者】

1 訓練生A

2 訓練生B

(職員)

1 横田看守部長

- (1) 勤務歴：28年3か月
- (2) 現職務内容：約40名の訓練生を担当
- (3) 現職務歴：5か月
- (4) 出身地：佐賀県
- (5) 年代：40代

2 島川看守部長

- (1) 勤務歴：7年3か月
- (2) 現職務内容：約30名の訓練生を担当
- (3) 現職務歴：9か月
- (4) 出身地：広島県
- (5) 年代：30代

3 中野SSJ職員

- (1) 勤務歴：2年

- (2) 現職務内容：社会福祉士
- (3) 出身地：大分県
- (4) 年代：20代

4 上田看守部長

- (1) 勤務歴：14年10か月
- (2) 現職務内容：仮釈放及び就労に関する業務
- (3) 現職務歴：1年4か月
- (4) 出身地：島根県浜田市
- (5) 年代：40代

2) アンケート項目の設定

総合政策学部の豊田ゼミに所属する2-4年生が浜田市福祉課と相談の上、アンケート調査項目を設定した。アンケート調査項目については、添付1参照。

3) アンケート調査結果と提言

アンケート調査は2021年9月に実施し、515名から回答があった。回答の詳細データと提言については添付2参照。また、アンケートやヒアリング結果は、浜田市の再犯防止推進計画に入れられた（添付3参照）。